

第12期（平成30年3月期）決算公告

平成30年6月22日

株式会社バタフライ

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	558,648	流動負債	250,580
現金及び預金	340,046	買掛金	152,666
売掛金	182,079	未払金	59,093
貯蔵品	445	前受収益	27,237
前払費用	29,316	未払法人税等	529
その他	6,759	預り金	2,570
		未払消費税	8,482
固定資産	138,568	固定負債	13,500
有形固定資産	9,127	退職給付引当金	13,500
建物及び構築物	710		
工具、器具及び備品	8,416	負債合計	264,080
無形固定資産	98,439	(純資産の部)	
ソフトウェア	77,382	株主資本	388,017
ソフトウェア仮勘定	21,057	資本金	93,937
投資その他の資産	31,001	資本剰余金	173,513
差入保証金	21,500	資本準備金	173,513
長期前払費用	9,501	利益剰余金	165,685
		その他利益剰余金	165,685
		繰越利益剰余金	165,685
		(うち当期純利益)	(45,119)
		純資産合計	433,136
資産合計	697,216	負債・純資産合計	697,216

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 …… 最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 …… 定額法によっております。
（リース資産を除く） 但し、10万円以上20万円未満の少額減価償却資産については、3年均等償却を採用しております。なお、主要な減価償却資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物	10～15年
工具、器具及び備品	2～10年

② 無形固定資産 …… 定額法によっております。
（リース資産を除く） なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年以内）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金 …… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

受託制作のソフトウェア開発プロジェクトに係る収益及び費用の計上基準

当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる場合については、工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の場合については、工事完成基準を適用しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …… 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(6) 追加情報

グループ会社であるセガサミーホールディングス株式会社は、平成29年3月31日開催の取締役会において、当社並びに首都圏に所在する一部のセガサミーグループの事業会社の本社を移転することを決議いたしました。これにより、前事業年度末において、移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更いたしました。この変更により、従来の方法に比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ1,444千円減少しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末の発行済株式の種類及び総数

普通株式 1,185,000株

(2) 当事業年度末における自己株式の種類及び株式数

該当事項はありません。

(3) 当事業年度末の新株予約権（権利行使期間の初日が到来していないものを除く。）

の目的となる株式の種類及び株式数

該当事項はありません。